

“漁業の現場”からの訴え

令和2年7月16（木）
参議院議員会館

福島県漁業協同組合連合会
理事 柳内孝之

福島県漁業協同組合連合会組織図

福島県漁業協同組合連合会

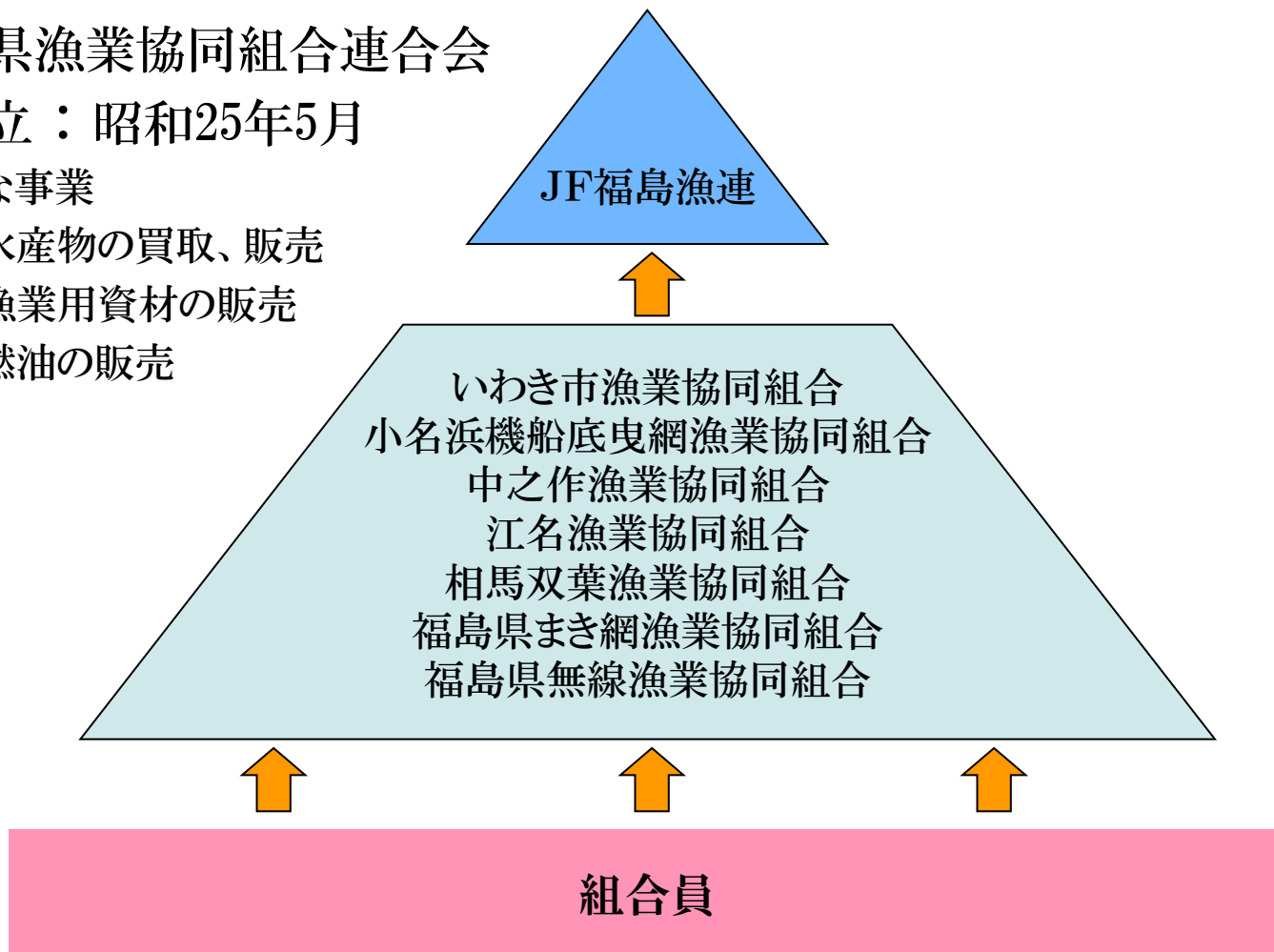
設立：昭和25年5月

主な事業

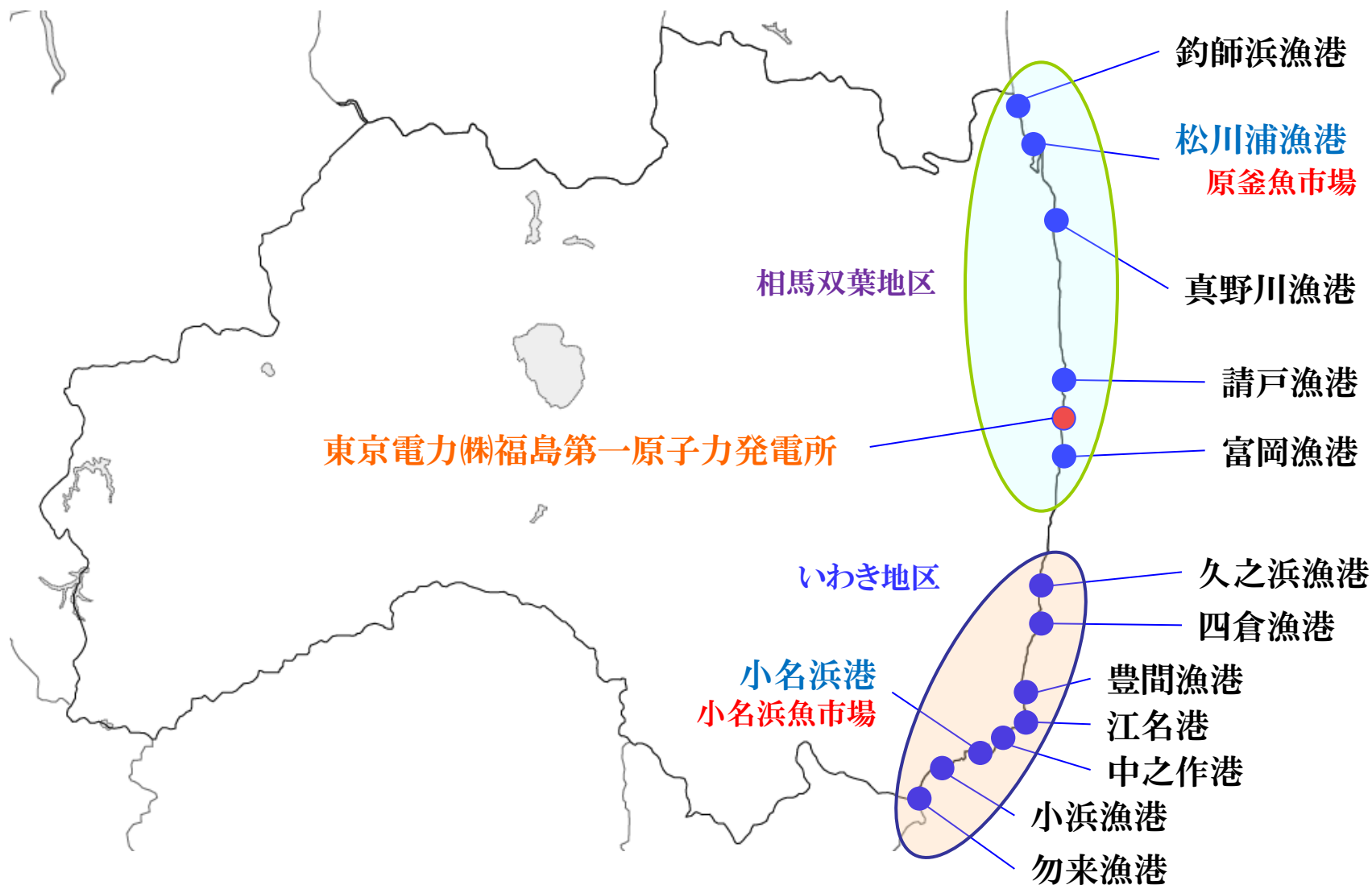
水産物の買取、販売

漁業用資材の販売

燃油の販売



福島県の漁業拠点



震災による影響

東日本大震災

地震・津波

県内の港(13)全て被災

被災船舶 873隻

死亡組合員数 111名



原子力災害

放射性物質拡散

避難

海洋汚染

操業自粛



相馬双葉漁協請戸支所・富熊支所は、東京電力福島第一発電所より20km圏内

復興に向けて

- 基盤整備

港・魚市場・加工施設・漁船等の主にハード面

- 生産体制

がれき撤去などによる漁場の回復
適切な資源管理の推進

- 放射能に関する対策

放射能検査体制の整備と実施体制の構築

安全・安心な水産物の提供と正確な情報発信

放射性物質による海洋汚染の防止と安全性の確保を要求

小名浜港の水産業施設整備

● 小名浜魚市場を再建

- ・衛生管理を強化した鮮魚対応の魚市場
- ・凍結品対応の荷捌き施設



● 冷凍冷蔵施設建設

- ・超低温冷蔵庫を備えた施設

冷凍・冷蔵施設
 貯蔵能力
 超低温 2,000t
 F級 4,400t



水産物の検査



NaI検査機器

ヨウ化ナトリウムを検出器に使用したシンチレーション検査機



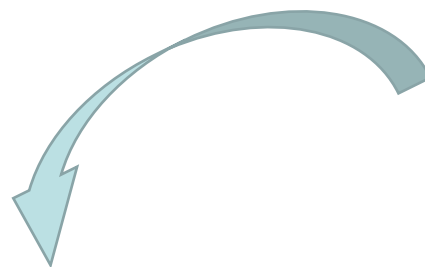
CsI検査機器

ヨウ化セシウムを検出器に使用したシンチレーション検査機

検査は、検出下限値が10Bq/kg前後となるようにしています。

原釜地区整備

●相馬原釜魚市場



真野川漁港荷さばき施設



新地町釣師浜漁港荷捌き施設



請戸漁港水産業共同利用施設



磯部水産加工施設



福島県の漁業再開に向けて

● 試験操業とは

安全が確認されている魚種を対象に、小規模な操業と販売を試験的に行い、出荷先での評価を調査して、福島県の漁業再開に向けた基礎データを得るために行っています。

試験操業の流れ

試験操業は、段階を踏んで慎重に協議されて実施されます。

モニタリング検査結果

漁業者・流通業者の協議

地区試験操業検討委員会

福島県地域漁業復興協議会

福島県下漁協組合長会議



福島県地域漁業復興協議会

モニタリング検査結果から対象魚種を選定し、操業や流通体制等を検討します。

相双、いわきの各検討委員会において、計画について協議し、地域の合意を図ります。

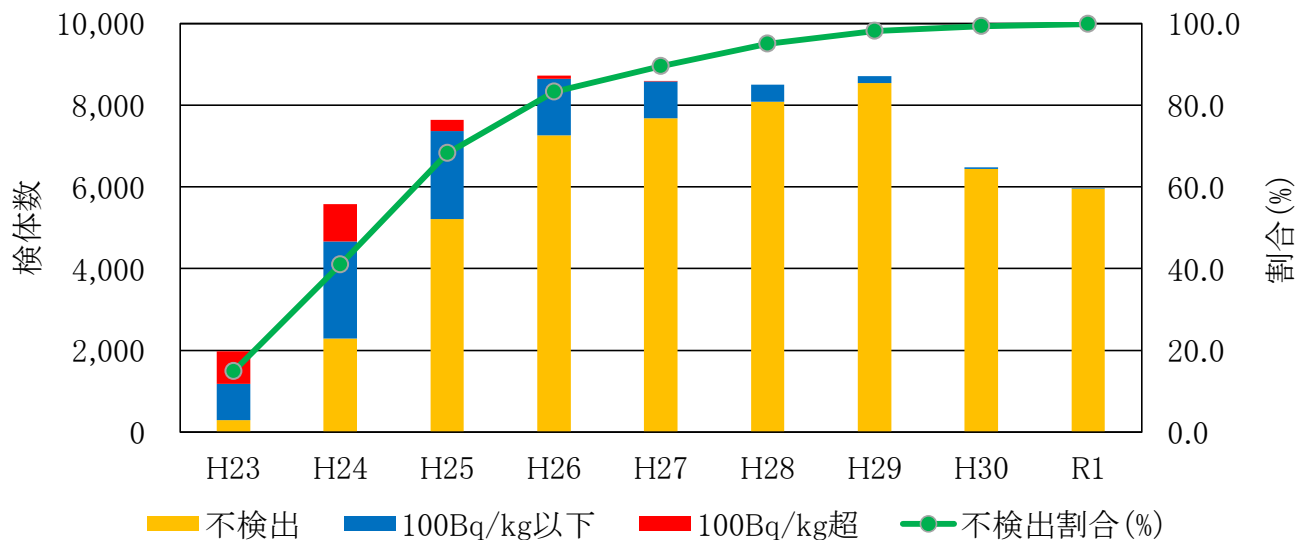
漁業者代表、消費・流通代表、有識者、行政機関により、計画が協議されます。

計画が最終判断されます。

福島県水産物のモニタリング検査実績

年	100Bq/kg超	100Bq/kg以下	不検出	不検出割合(%)
H23	785	893	294	14.9
H24	921	2,372	2,287	41.0
H25	280	2,147	5,214	68.2
H26	75	1,387	7,260	83.2
H27	4	896	7,677	89.5
H28	0	422	8,080	95.0
H29	0	167	8,540	98.1
H30	0	45	6,436	99.3
R1	0	12	5,958	99.8

モニタリング検査実績



試験操業対象魚種

- 対象種は約2万件(毎週200検体前後)のモニタリング検査結果から、安全が確認された魚種を選定しています。

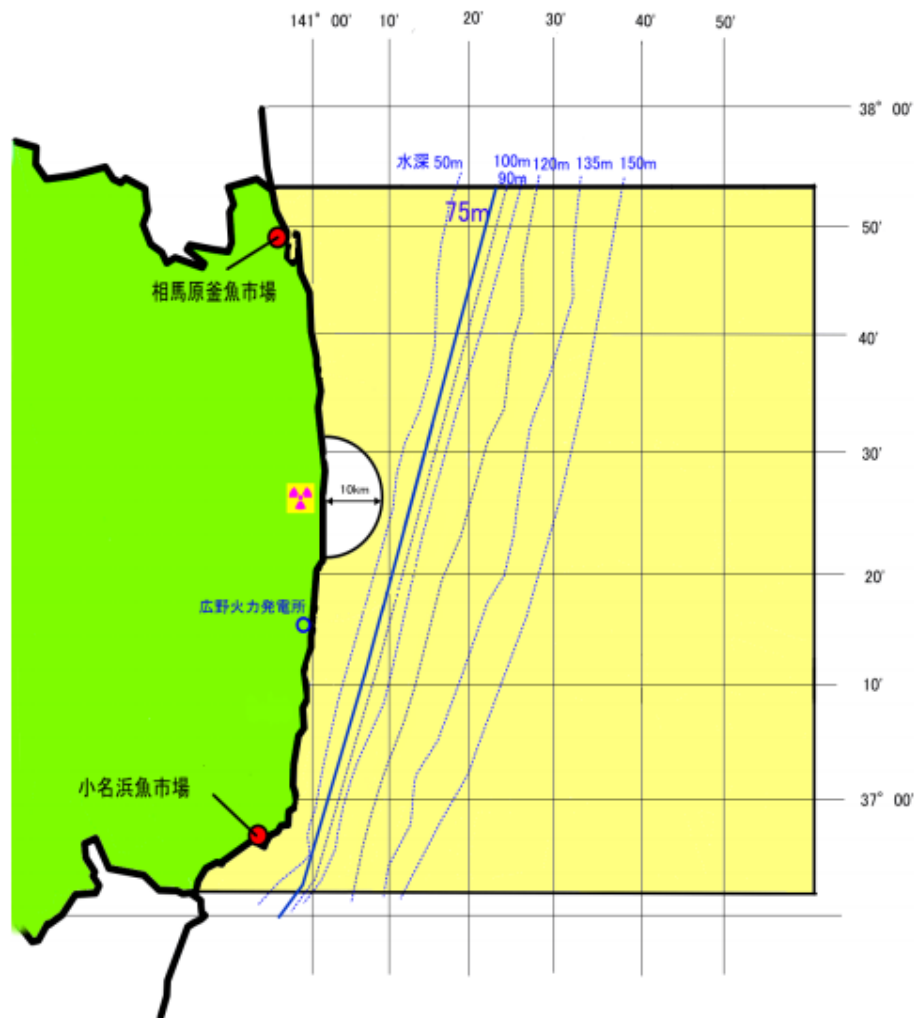
平成24年6月 3種
ミズダコ・ヤナギダコ・シライトマキバイ



平成29年3月
97種

令和2年3月
出荷制限魚種無し

試験操業対象海域 (令和2年3月現在)



試験操業海域

試験操業は福島第一原子力発電所の半径10km圏内を除く福島県沖で行われています。

- ◆底びき網は、試験操業対象種以外の混獲を少なくするため、沖合に限定した操業をしています。
- ◆各漁法の許可の内容や漁業権等のルールに基づいて操業が行われています。

相馬双葉漁協試験操業(H24.6.18～)

● 水揚げから流通まで

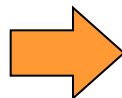


相馬双葉漁協試験操業(H24.6.18～)



いわき地区試験操業(H25.10.18～)

●水揚げから流通まで



アワビ：H26.5.22～
福島県産を明記したタグを付けて、出荷先まで産地表示が出来るようにしております。

いわき地区試験操業(H25.10.18～)



風評被害払拭へ向けて

●いわき魚まつり



平成26年12月16日(火)には、JR新橋駅前の新橋SL広場にて「復興支援感謝！“いわきの魚祭り”」を開催。



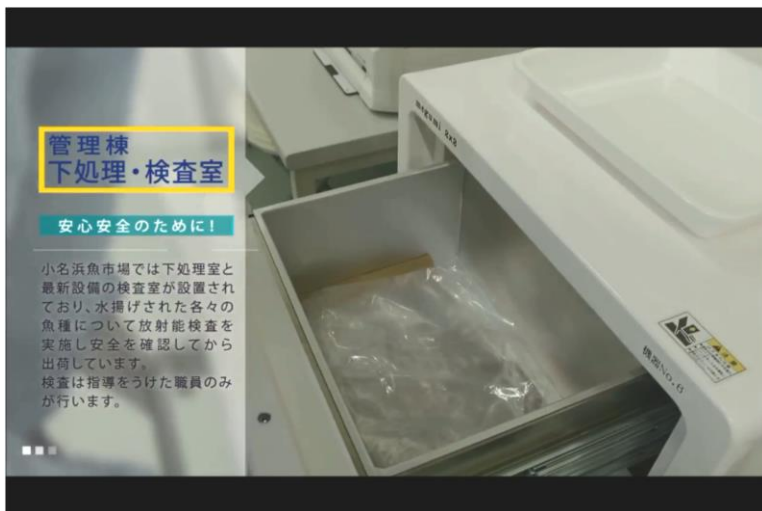
風評被害払拭へ向けて

●イオン京都桂川店にて



インターネットの活用

● 小名浜魚市場HP <http://onahama-fishmarket.com/>



販売促進

●福島鮮魚便

福島県と福島県漁業協同組合連合会、イオンリテール株式会社は、『福島鮮魚便』コーナーを展開し福島県産水産物を販売



『福島鮮魚便』 販売スタッフについて

売場に常駐する販売スタッフが、その日販売している鮮魚について試食販売を実施し、安全・安心と美味しさをお伝えします。
メヒカリやヒラメなど、旬ごとに色々なお魚の食べ方提案なども行ってまいります。



JF 福島漁連
福島県漁業協同組合連合会

AEON

資源管理の推進

● マリン・エコラベル・ジャパン(MELジャパン)認証取得

MEL認証一覧

生産段階認証

海域：福島県沖

ヒラメ・(沖底 小底 さし網 釣)

ヤナギムシガレイ・(沖底 小底)

コウナゴ・船びき ホッキガイ・貝桁 アワビ・アワビ漁業

マアナゴ・(沖底 小底 ハモカゴ)

海域：北部太平洋福島県沖

カツオ・まき網

流通段階認証

福島県漁業協同組合連合会

小名浜機船底曳網漁業協同組合

いわき市漁業協同組合

相馬双葉漁業協同組合

磯部地区水産物流通加工業協同組合



地域ブランド常磐もの

●「常磐もの」の魅力を伝える

安全・安心の情報を全面的に発信。

「魅力のある水産物」に重点を置き情報発信。

浜のお母さんに聞いた郷土料理

 <p>カツオのたたき</p> <p>強火で炙ることで、余分な脂を飛ばしながら、食感をそそる香ばしさをプラス。カツオの真やかな香りが体中を駆けめぐります。</p>	 <p>メヒカリの唐揚げ</p> <p>小さい魚なのに、脂がしっかり集ったその身は、唐揚げにぴったり。皮のバリバリ感と身のふわふわ感が相乗効果でビールがとまらない!</p>
 <p>サンマのぼーぼー焼き</p>	 <p>“さんま飯ハンバーグ” 醤油やぼん酢は定番だけど、チキリアップソースをつけてもおいしい!</p>
 <p>あんこう鍋</p>	 <p>あん肝をベースに味噌仕立てで作る鍋は「どぶ汁」とも呼ばれています。コクがあり、アンコウのうま味を堪能!</p>

常磐もの IWAKI

ホーム お知らせ 常磐ものとは? 商品一覧 鮮魚店一覧 水産業について お問い合わせ

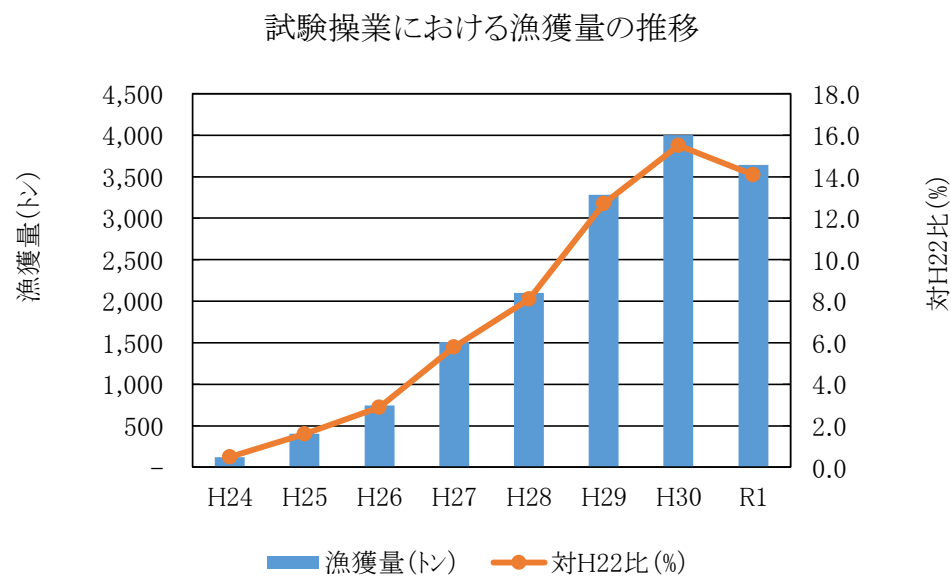
魚食普及月間

常磐ものを食べよう!!



試験操業の漁獲量実績

年	漁獲量(トン)	対H22比(%)
H24	122	0.5
H25	406	1.6
H26	742	2.9
H27	1,512	5.8
H28	2,100	8.1
H29	3,281	12.7
H30	4,004	15.5
R1	3,640	14.1



水揚げ量を回復させるには

●必要なこと

生産能力の向上 → ○（船舶・漁具の充実）

港・魚市場の整備 → ○

水産物の買受能力の向上 → △

●回復しない要因

風評による取扱い量の減少（買受能力の低下）

買受人の減少（相双漁協の買受人180人→20人）

規模の縮小

取引先の減少（消費者への付度もある）

震災後、他産地のものにシェアを奪われた

買受人の立場から

●理想

先行きが見通せる状況になる(風評被害がなくなる)

→買受人の設備投資、従業員の増員

→取扱い量の増加

●悲観的な見方(不安)

ALPS処理水の海洋放出で風評被害が起こる

→売上の低迷



設備投資をして売上が回復しなければ
負債が残りかねない

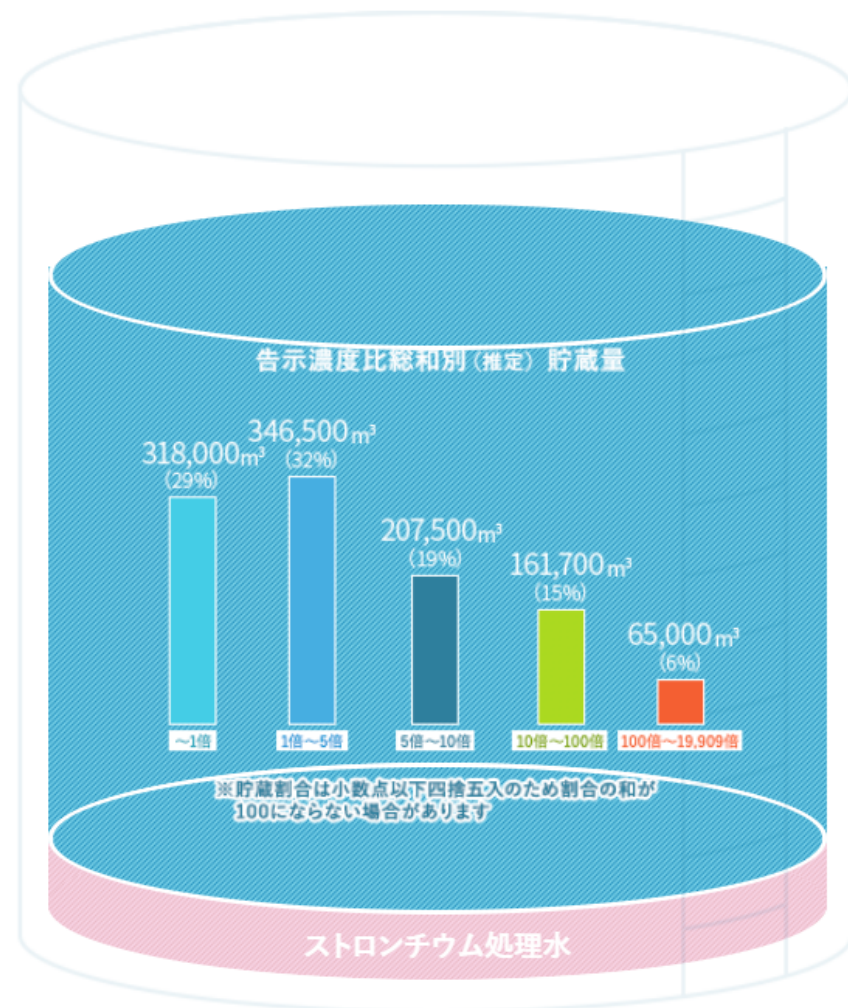
多核種除去設備等の処理水貯蔵量および放射能濃度

● 多核種除去設備等の処理水の貯蔵量(2020年3月31日現在)

1,098,700m³

全体の7割が基準値超

「安全に処理」を信用できるか？



トリチウム水の廃棄について

- 事故前(福島第一原発における2010 年度実績)
年間約 2.2 兆 Bq 海洋放出

海洋への放出管理目標値……年間 22 兆 Bq
(トリチウムの場合、放出管理の基準値)

- 今後海洋放出すると
年間22 兆 Bq放出すると約33年かかる
(放出量約 234万 m³)



福島の海は事故前より
悪化？

問題点

●多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会報告書

- 海洋放出ありき。
- 復興が後退してしまう。
- 法改正を視野に入れた検討がない。
- 安全なら他の場所での処分も可能では？

日本国憲法

第一十五条

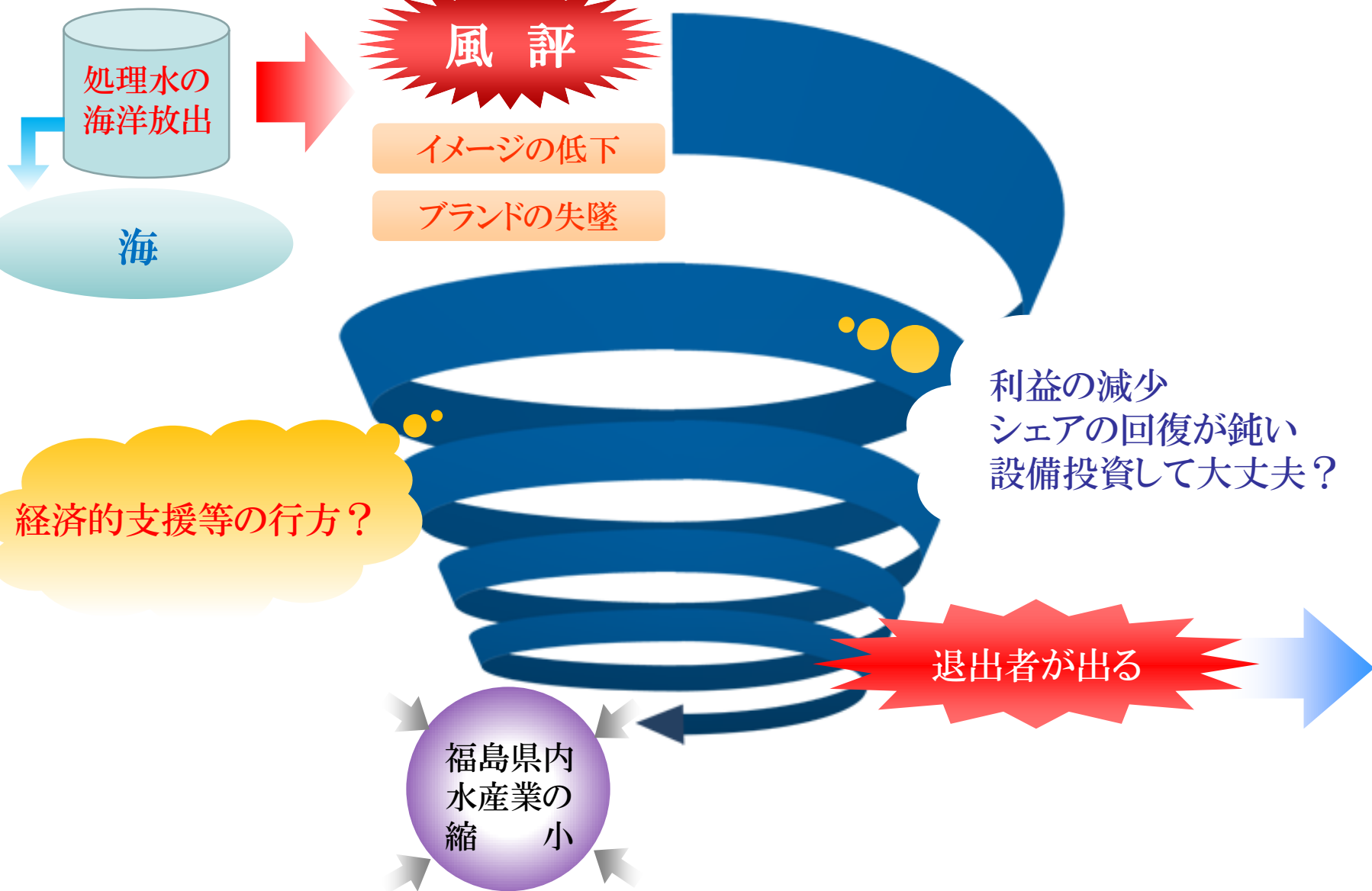
2 すべて公務員は、全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない。

第二十五条

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

懸念



福島の海

安心・安全

We deliver safe and fresh fish
from Fukushima

海の再生
水質保全・浄化

ありがとうございました。

